瓦版　都市計画マスタープランの改定および立地適正化計画の策定

第３号：地域別ワークショップの結果のお知らせ

１．ワークショップの開催概要

都市計画マスタープランでは、市域を、現行の計画と同様に、旧中学校区を基本とした次の６地域に区分することとしており、地域の代表者に集まっていただき、それぞれの地域のまちづくりについて意見交換を行いました。

- ●能代北部地域（東雲中学校）
- ●能代中央地域（第一・第二中学校）
- ●能代南部地域（南中学校）
- ●能代北東部地域（旧常盤中学校）
- ●能代東部地域（東中学校）
- ●二ツ井地域（二ツ井中学校）

ワークショップは計３回にわたり行いました。

この中で、地域の将来の姿について取りまとめました。

第１回／令和３年５月書面開催

第２回／６月22・23日

第３回／７月15・16日

※第２回、第３回は６地域を３地域ずつに分けて各回２日間開催しました。

２．ワークショップで取りまとめた内容

（△＝強み・弱み　◆＝災害リスク）

	地域特性など	取り組み・方向性のアイデア
能代中央	△空き店舗が多い、空き家の荒廃	空き店舗をPRし、利用希望者とマッチング
	△住人同士仲が良い	前向きな意見を言い合える関係性の構築、まちづくりの関係者を増やす
	◆どこが危険なのかわからない	市の出前講座で、ハザードマップを周知・理解促進
	◆高齢者が多く、避難時の移動が心配	災害を想定した訓練が必要（自治会ごとなど）
能代北部	△総合病院の立地やスポーツ施設のにぎわい	病院・温泉・スポーツ施設が連携した拠点形成
	△落合浜にゴミが多い	ボランティアで清掃活動
	◆市街地の道が狭い	避難路、通学路を広くする
	◆要支援者は誰が助けに行くのか	避難時の役割分担（行政・住民間）を事前に決めておく
能代北東部	△常盤地区は交通が不便	デマンドタクシーが欲しい
	△空き家の増加（管理不十分）	空き家バンクの登録をし、外部の人を呼び込む
	◆若い人とお年寄りで危機意識が違うかも	自主防災組織の設置と定期的な訓練
	◆何日か過ごせる避難所がない	地区自治会連合会で備蓄庫の内容を確認する
能代東部	△旧東能代中学校跡地の利活用が不透明	旧東能代中学校跡地の活用
	△小・中学校が地域に根差した学校づくりをしている	PTAのつながりが強く、子どもから親のつながりに展開していく
	◆市街地の歩道に縁石がない	通学路としての安全の確保（歩車分離、ポールの設置など）
	◆自治会が防災倉庫を確認している	自治会での防災への取り組み強化（自主防災組織の構築）
能代南部	△買物などがすぐできる	病院や買物などが便利な環境を存続
	△地域の団結力がある	役七夕をきっかけに、昔からのつながりを維持する
	◆内水で県道が通行止めになる	治水工事を早く完了させる
	◆側溝に蓋がないので、避難時、高齢者が危険	市道の整備
ニッ井	△特産品が多い（白神ねぎ、山ウドなど）	白神ねぎを活用し、農業の良さを若い人に伝える（職業として）
	△一人暮らしのお年寄りが多い	元気な高齢者に地域活動の一端を担ってもらう
	◆防災無線が聞こえない	音色で緊急度の違いだけを伝えるなど、改善の工夫を実施
	◆近所付き合いが薄くなってきた	お年寄りやご近所での、声掛け・関係づくり

３．瓦版について

都市計画マスタープランや立地適正化計画の検討状況を市民の皆さまへお知らせするため、主要な区切りで瓦版の発行を行っています。

瓦版は、市のホームページに公開するほか、市役所等の公共施設にて配布いたします。

お問合わせ

能代市　都市整備部　都市整備課

〒016-8501　能代市上町１番３号

電話：0185-89-2197

FAX：0185-89-1779

E-mail：toshi@city.noshiro.lg.jp